

コラム：自然素材・無垢フローリング材

「ずっと体に触れる部分だからこそ心地よい素材を。」

担当者インタビューの中にもありますが、床は住まいの中でずっと肌に触れる部分。だからこそゴーイング・グリーンでは素材にもこだわりたいと考えています。

無垢フローリング材とは天然木の一枚板を加工して床にしたものです。一般的に保温性や断熱性が高く、湿度の高い季節は湿気を吸収し、乾燥する季節は排出する調湿作用もあります。夏は素足で歩くとサラサラで、冬は静電気を抑えます。柔らかい樹種であれば弾力性もあります。ただ湿度の変化によって、膨張と収縮を繰り返すため、場合によっては、反り、むくり、割れ、隙などが生じることも。自然素材だからこそしっかりと働いてくれていると理解して楽しむことができれば本当に魅力あるお薦めしたい材料です。生きている素材だからこそそのメリット・デメリットを理解し楽しむことで、自然素材の気持ちよさを共感していただけたら、本当にお勧めしたい材料です。

無垢の床材には大きく分けて広葉樹と針葉樹の2種類があります。

広葉樹は今回の宮前平リノベーションでも採用したナラをはじめ、タモ、サクラ、チーク、ウォールナットなど硬く、傷が付きにくい材料です。針葉樹はスギ、ヒノキ、パインなど柔らかく足ざわりが良い反面、傷が付きやすい材料です。どの材もそれぞれにキャラクターがあり、色や模様も違います。自分達の希望や好みに合わせて好きな材料を選定できると家にもより愛着が湧きますよ。

もう一点、無垢の床材を楽しむコツがあります。それは表面に塗る塗装材。せっかくの無垢材なので表面をコーティングするような塗料（ウレタン塗装）ではなく、オイルやワックス材がお勧めです。先にご紹介したように木の持っている本来の特徴を存分に発揮する浸透性の塗料は、材料の風合いが存分に楽しめます。




無垢のフローリング材は気持ちのよい素材。



無垢材にはたくさんの樹種がある。

無垢床材の特徴と楽しみ方

- ①保温性、断熱性、調湿性がある。
 - ②足ざわりがよい。
 - ③そり、むくり、割れ、隙等の不具合も。
 - ④針葉樹、広葉樹、様々な樹種がある。
 - ⑤塗装は浸透性が素材感を楽しめる。
- ※お好みの素材で楽しみましょう。

 **こんにちは！**
私たちがゴーイング・グリーンです。

長くつきあう やさしいエコリフォーム

「ゴーイング・グリーン」とは「地球にやさしくしよう！」を意味する言葉です。

ガス会社の米山商事が、エコの気持ちのこもった言葉を、リフォーム事業部のブランド名にしました。1969年の創業から、これまで培ってきたサービスとノウハウを活かし、お客様の住まいへの想いやお悩みを共有し、快適な暮らしを共に考えていきます。

家は応急処置的な修繕ではなく、個々のお悩みやニーズをよく理解して、長く役に立つリフォームをご提供すること。それがご家族の成長や暮らしを支えると同時に、家そのものが家族の一員として育つことにつながると私たちは信じています。ゴーイング・グリーンは、お客様ひとりひとりの日常的・定期的なコミュニケーションを通じて理解した住まいへのお悩みやニーズに対し、安全・質・エコにこだわったリフォームサービスをご提供いたします。




米山商事社屋



ゴーイング・グリーンのリフォーム現場

お問い合わせ・ご相談・見積はこちらまで。

 **0120-025-218** 9:00~20:00
日・祝 除

E-mail : info@goinggreen-reform.com

〒223-0057 横浜市港北区新羽町 1526 株式会社 米山商事

ヨネヤマの長くつきあうエコリフォーム
 **Going Green**
ゴーイング・グリーン



リフォーム・ライフスタイルマガジン Vol.03

暮らしのカタチ

WEB サイト : <http://goinggreen-reform.com>

ヨネヤマの長くつきあうエコリフォーム
 **Going Green**
ゴーイング・グリーン

株式会社 米山商事

2017.4 春号

お客様と培った「優しいリノベーション」

私達のリフォームの理念をカタチにするべく、自社所有マンション物件をリノベーションしました。「暮らしのカタチ」Vol.3 春号では、私達が目指す「優しいリノベーション」事例を当社プランナーの想いと共にご紹介します。



丘を越えた先にある、風と光に満ちた家

自社物件にお客様と培ったアイデアを盛り込むリノベーションプロジェクト

川崎市 宮前平スカイハイツ

期間：4.0 カ月

販売価格：3200 万円

家族：3 人 (夫婦 + 子供) 想定

リノベーション 断熱



リビングダイニングキッチン。寝室を囲う斜めでカーブがある壁。柔らかさと広がりを感じさせます。



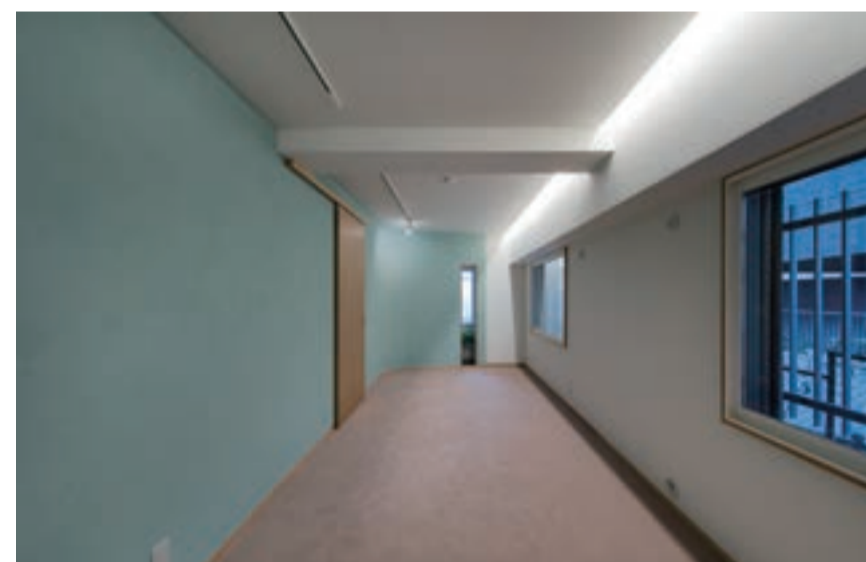
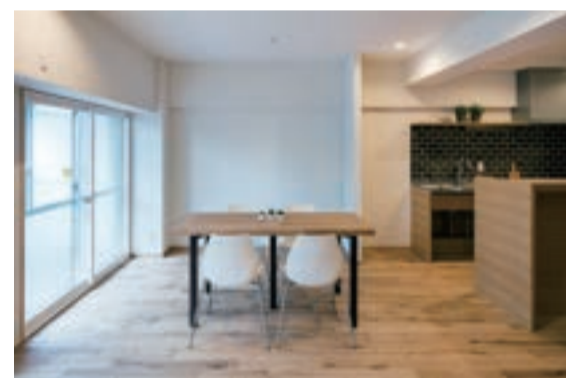
横にスペースを広げた玄関土間スペース

「ゴーイング・グリーン」の3年半の蓄積をカタチに。

米山商事にリフォーム課「ゴーイング・グリーン」が設立されて3年半、徐々に蓄積されてきたリフォーム技術とお客様と産みだしてきたアイデア。過去の経験から自分達が本当にご提供したいと思うものの集大成として、自社の中古マンションリノベーションを通じて具現化するプロジェクトに取り組みました。



天然木のオリジナルキッチン。ダイニングテーブルは床材を貼って作りました。



寝室の壁は落ち着いた浅緑色の珪藻土。間接照明が柔らかく照らします。

「想いを込めて丁寧に作りあげました。」

もとの間取りは2LDKのどこにでもある普通のマンションプランでした。角部屋でしたが、部屋のイメージは暗く寒いもの。私達は角部屋で窓が沢山ある特徴を活かして、開放的で明るく風が抜ける気持ちの良い住まいにしたいと考えました。普段ならお客様と話しながら仕立てていく住まいを、私達ならこんな提案をするだろうと自問自答しながら作り上げていきました。先に挙げた4つのポイントも十分に感じていただきたいのですが、私達「ゴーイング・グリーン」が一丸となって丁寧に作りあげたその想いを是非感じていただきたいと思っています。

「優しいリノベーション」、大事にした4つのポイント

私達のリノベーションはお客様に寄り添い、共に作り上げるスタイル。使いやすい、お客様にとってちょうどよいと感じられる住まいをご提案します。これを「優しいリノベーション」と呼んでいます。その観点から今回は以下の4つをポイントにリノベーションを進めていきました。

宮前平リノベーション4つのポイント

①斜めの壁が楽しい回遊性プラン

ありきたりな2LDKが住み方の変化にも対応しやすい回遊できるプランに生まれ変わりました。

②細部まで使いやすい優しい気配り

かゆいところに手が届く、きめ細やかな設計です。コンセントの位置にまでこだわりました。

③風と光が廻る心地良い環境

三方が外壁の角部屋の特徴を考慮して、通気・断熱・採光とも心地よい環境を目指しました。

④手触り感を大事に永く愛せる自然素材

完成が最高ではなく、住んで最高にしたい。徐々に味が出て、触って心地よい自然素材を中心に。



リノベーション後のプラン

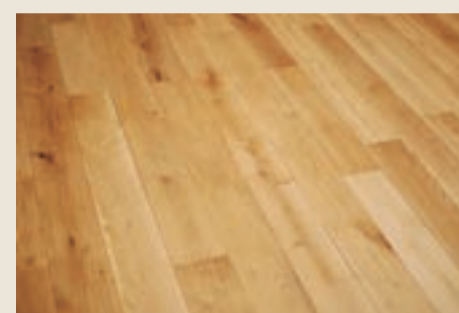
担当者インタビュー ～プロジェクトに込めた想いを聞きました～



ゴーイング・グリーンの植田・山口

Q. 具体的なお客様がいないプロジェクト、その進め方は？

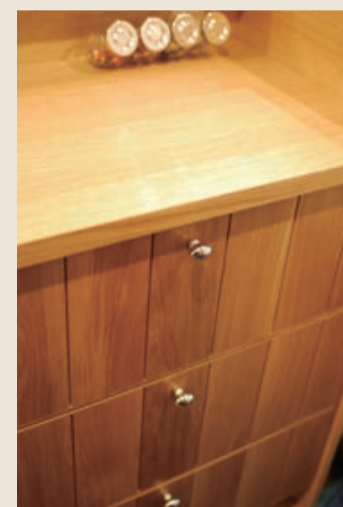
GG(ゴーイング・グリーン)の略) 山口：お客様と培った技術とアイデアの蓄積というのは、確かにありますよね。例えば断熱内窓とか実際に入れてみてその効果をお客様から実感として伺ったもの。そんな実感から入れるべき価値があると思ったものがあります。それらを中心に選定したり、またこれまでなかなか実現できていないけれど是非お勧めしたいなと思ったものを選定したり、蓄積と試行が混ざりあったプロジェクトになっています。



無垢フローリング：北海道産ナラ材

Q. こだわった素材感。選定のポイントは？

GG 植田：まず絶対に無垢の床にしようということは最初からありました。硬い木なので冬は少し冷たい感じがありますが、足触りにベタベタした感じがなくて夏はさらりとして気持ちが良い。過去のお客様にも実感頂いて、これ絶対(笑)、床は無垢です。当たり前だけどもちろん重力があるわけで床は住まいの中では常に体に触れている部分なんですよ。国産北海道のナラ材。愛着湧きますよー。



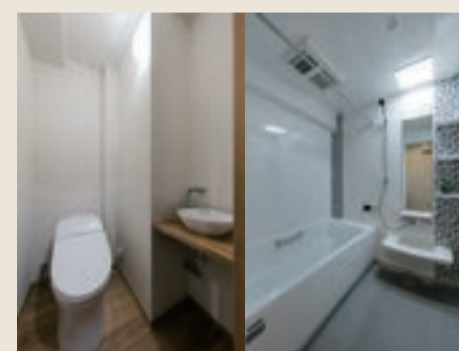
造作キッチンの引出し：無垢オーク材

GG 山口：絶対といえば空気。部屋の中では必ず空気を吸いますよね。自然素材のあるこの部屋にいると空気が違いますか？今回は壁の一部に珪藻土を使っています。珪藻土は調湿、空気清浄効果もあるのでとても気持ちよく機能性も高い素材です。

GG 植田：他にもウールカーペット、磁器質タイル、ステンレス、天然木のオリジナルキッチンとかこだわりの素材はありますがここでは全部、紹介しきれないですね。(笑)

Q. プランと間取りの考え方は？

GG 植田：これまでいくつか経験してきたスケルトンのリノベーションの中で、いろいろなところぐるぐる行ける回遊性のある間取りっていいなとお客様と一緒に体感してきました。今回は斜めでカーブのある思い切った壁ではありましたが、機能性と面白さの絶妙なバランスで使い勝手も悪くないと思います。普段ではなかなか出来ない斜めやアールの壁なども自社物件ならではのかもしれませんが、これからは自信をもってこのような動きのある間取りもお勧めできそう(笑)。社内コンペで私のプランがベースになりましたが皆のプランの良い所を盛り込みました。



什器はこれまでの経験からベストチョイス

GG 植田：素材感をどうやってプランに活かしていくかという課題を当初から持っていました。山口さんの当初案は壁が印象的な案で、厚みと素材感があるもの。その考え方が今の斜めの壁に活かされていますね。

GG 山口：最初は斜めの壁にカーブはなかったのですが、実際に思い切ってカーブを入れてみると動きがあって優しく柔らかい雰囲気になってよかったなと思います。斜めの壁に珪藻土の素材感を特徴として出せて、うまくプランに活かされたと思います。



洗面台はちょっとオシャレに

Q. 完成して思うことは？

GG 植田：買った方が何を気に入って決められたか、どういう印象なのかお聞きしたいですね！お客様と一緒に作る事が根っこにあるので買った方の印象がどうしても気になりますね(笑)。

当物件・宮前平スカイハイツは販売中です。ご興味のある方はお問合せください。H29.3.26日現在



他事例は WEB を御覧ください → <http://goinggreen-reform.com>